

国際サービスシステム メンテナンスニュース

VOL.88

2007/12/31

国際サービスシステム(株)

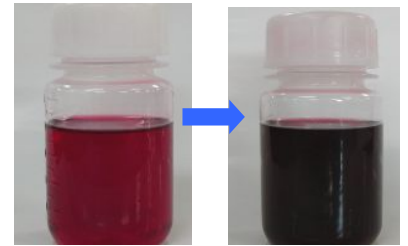
先月はアイデアが思い浮ばず、このニュースを休刊してしまい申し訳ありませんでした。まだまだ続けていこうと考えていますので宜しくお願いします。本当に月日の流れるのは早く、2007年もあと数週間で終わろうとしています。振り返れば今年もいろいろな出来事がありましたが、来年はどのような年になることでしょうか？さて今回のニュースですが、例年どおり今年発行したニュースの概要をまとめてご紹介したいと思います。

VOL.79 悪天候時のクレーン取扱いの話

強風時、大雨、雷、大雪時のクレーンの取扱いについてお話しました。このところ地球温暖化の影響かもしれない異常気象が多くなっています。急激な天候の変化を見逃さず十分注意をして安全にクレーン作業を行ってください。

VOL.80 各種オイルの色の話(1)

この回ではエンジンオイル、トルコンオイル(ATF)、ギヤオイルの新油と使用済み油の色を比較して各オイルの働きや交換時期などをご紹介しました。右の写真はその時掲載したトルコンオイルの新油と使用済み油ですが、改めて見ると「オイルって汚れるんだな～」と感じると思います。



VOL.81 各種オイルの色の話(2)

前回に引き続き作動油、ブレーキオイル(ブレーキフルード)の新油と使用済み油の色を比較して各オイルの働きや交換時期をご紹介しました。著しく変色しているオイルを使用していると思わぬトラブルになる場合があります。各種オイルの定期交換は重要なメンテナンスポイントですので、忘れずに行うよう心掛けてください。

VOL.82 自動車点検基準改正の話

今年の4月1日から改正された自動車の点検基準についてお話しました。大きな改正内容として大型車の点検内容の見直しと追加が上げられます。今月に判決がでた三菱ふそうトラック・バスのホイール脱落事故に端を発し、各地でホイール脱落事故が起きていることもあり、今回の改正になったようです。ホイールナット脱落、緩み、ホイールホルトの折損には十分注意して点検を行い、ホイールを脱着した場合一定期間走行後の増締めを忘れないようにしてください。

VOL.83 エンジンオイルフィルターの話

定期メンテナンスには欠かせないエンジンオイルフィルターの役割や種類についてお話しました。過酷な条件下で使用される建設機械のエンジンですので、定期交換を怠らないようにしてください。

VOL.84 夏が来る前に注意したい故障事例の話

夏に起き易いエンジンのオーバーヒートとブレーキオイルのベーパーロック現象についてお話しました。毎年この2つの故障についてはご紹介していますが、無くなることはありません。来年こそは……。

VOL.85 クレーン車暴走の話

前の回でお話したブレーキオイルのベーパーロック現象が起因する事故が北九州で起きてしまいました。幸い死亡事故には至らなかったようですが、クレーン5台・家屋の壁・信号機などを損壊させてしまったようです。ベーパーロック現象を起こさないためには、ブレーキオイルの1年毎の交換を実施してください。

VOL.86 飲酒運転撲滅の話(2)

飲酒運転の罰則強化などに関する道路交通法が今年の9月に改正されました。年末・年始は飲酒する機会が何かと増え、「少しなら大丈夫」「車が無いと明日困るから」「飲んでも自分は大丈夫」などという考えは絶対やめにしましょう！「飲んだら乗るな！飲むなら乗るな！」は、ドライバーが絶対守らなければならない最低限のルールです。

VOL.87 エンジンオーバーヒートの話(2)

夏に注意したい故障ということで、今年もお話したエンジンのオーバーヒートですが、冷却システムの部品が壊れると季節を問わず発生します。

エンジンオーバーヒートの修理は高額修理になるだけではなく、修理日数も掛かり休車日数を取られますので、ファンベルト、ラジエターホース・リターダーホース、右の写真にあるトーションアルダンパーなどの点検を怠らないようにしてください。



*** 今年も国際サービスをご愛顧いただきありがとうございます。来年も変わらず宜しくお願いします。**

破損したトーションアルダンパー

ご不明な点、分からない事等ありましたら是非ご相談ください。